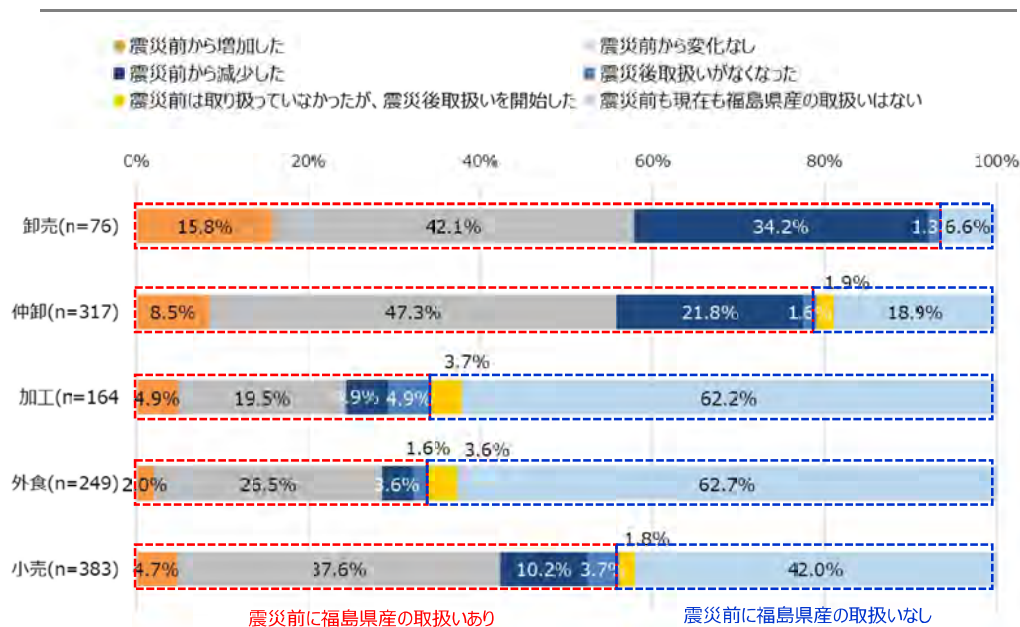


震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量について尋ねたところ、全体的に震災前から増加した割合よりも、変化なし又は減少した割合の方が高かった。

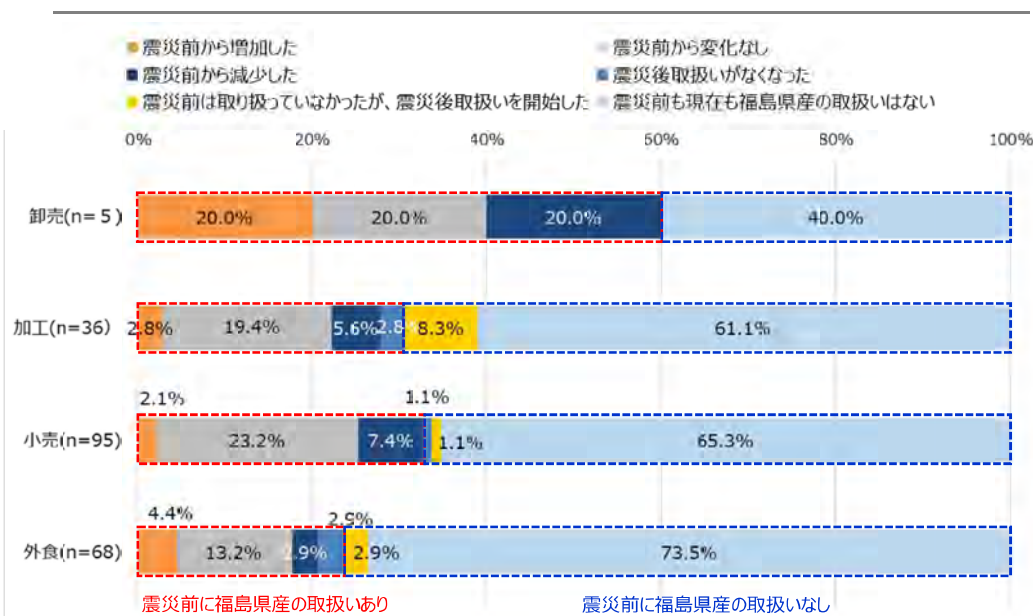
震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量



震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（米）

前頁の結果を米について見ると、卸売業者は震災前から取扱量が増加、減少、変化なしの事業者の割合が同程度だった。また、加工業者、小売業者、外食業者について、全体のうち約60%～70%が震災前も現在も取扱いがないという結果となった。

震災前と比べた現在の福島県産米の取扱量

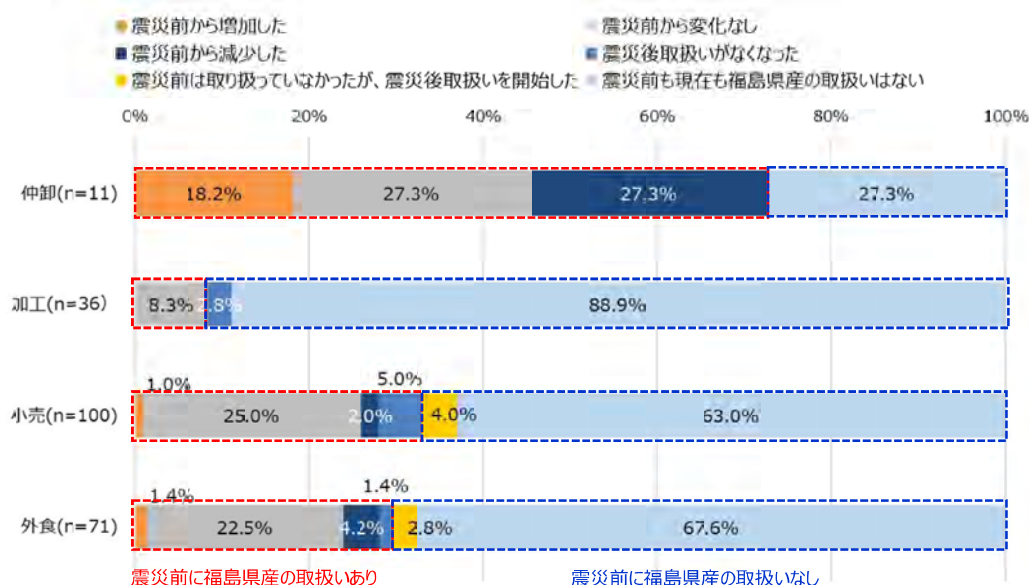


※卸売業者のn数が少ないため、取扱いに注意が必要。

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（精肉）

123頁の結果を精肉について見ると、仲卸事業者で震災前から取扱量が増えている事業者もいるものの、震災前から減少した事業者もいた。仲卸業者以外では、約60%～90%が震災前も現在も取扱いがなかった。

震災前と比べた現在の福島県産精肉の取扱量

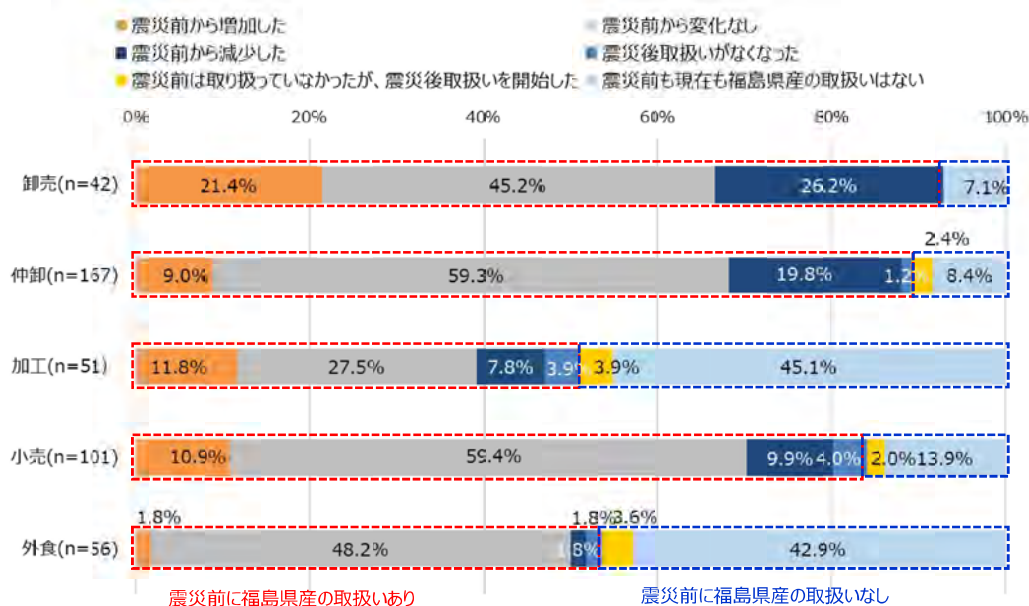


125

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（青果）

123頁の結果を青果について見ると、全品目で見た場合と同様に、増加した割合よりも、減少した又はなくなった割合の方が高かった。卸売業者全体のうち20%以上が、震災前から増加したと回答しており、他業種に比べてこの割合が高かった。

震災前と比べた現在の福島県産青果の取扱量

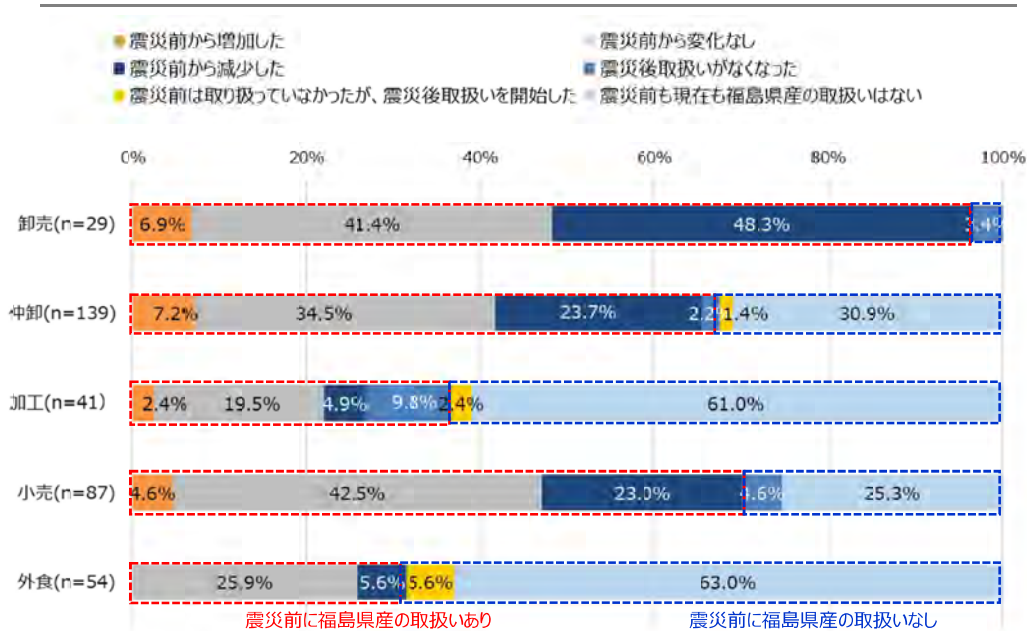


126

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（魚類）

123頁の結果を魚類について見ると、卸売業者の約50%が震災前から減少したと回答しており、他業種に比べてこの割合が高かった。

震災前と比べた現在の福島県産魚類の取扱量

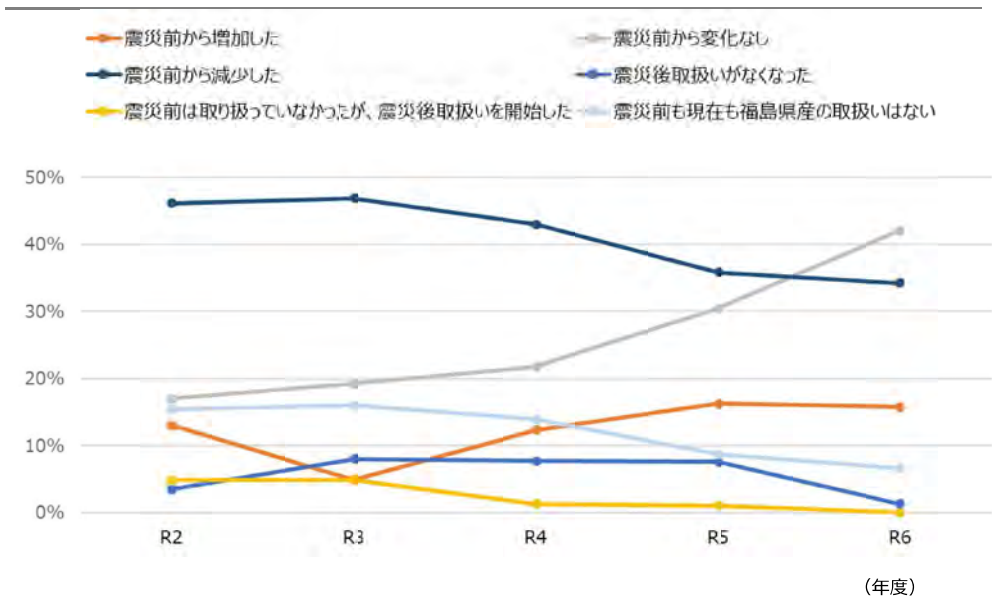


127

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（経年比較：卸売）

卸売業者における震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化を確認すると、震災前から取扱量が減少した事業者の割合は減少傾向である一方で、震災前から取扱量が増加した事業者の割合は増加傾向にある。

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化（卸売）



※n数はR2：84、R3：78、R4：84、R5：92、R6：76。R2～R4は青果は野菜・果物ごとに尋ねているため、品目ごとにn数は多少異なり、品目のうち大きい数をを用いて算出している。

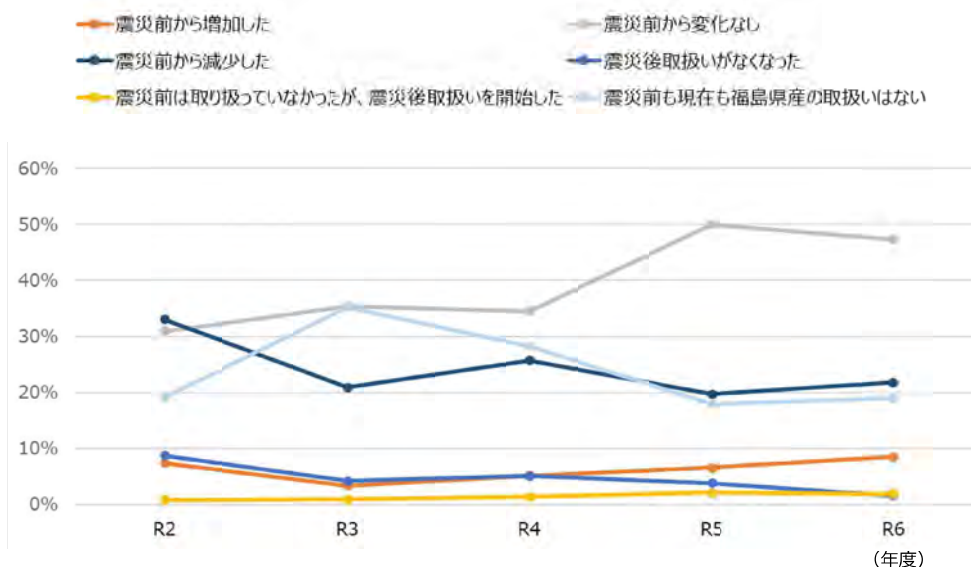
※回答者は同一ではなく、年度ごとにそれぞれ任意の事業者が回答している。

128

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（経年比較：仲卸）

仲卸業者における震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化を確認すると、震災前から取扱量が減少した事業者の割合及び震災前は取り扱っていたが、震災後取扱いがなくなった事業者の割合は減少傾向である。

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化（仲卸）



※n数はR2：249、R3：272、R4：225、R5：290、R6：317。R2～R4は精肉は牛肉・豚肉・鶏肉、青果は野菜・果物ごとに尋ねているため、品目ごとにn数は多少異なり、品目のうち大きいn数を用いて算出している。

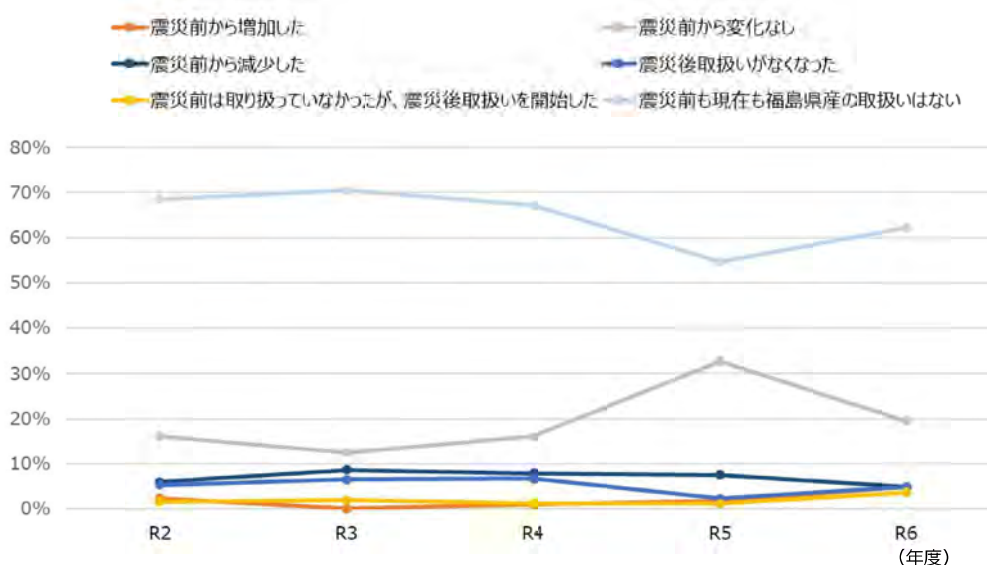
※回答者は同一ではなく、年度ごとにそれぞれ任意の事業者が回答している。

129

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（経年比較：加工）

加工業者における震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化を確認すると、震災前も現在も福島県産品の取扱いがない事業者の割合は減少傾向であるが、過去5年間で加工業者全体の中でその割合が大半を占めることに変わりはない。

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化（加工）



※n数はR2：223、R3：157、R4：141、R5：174、R6：164。R2～R4は精肉は牛肉・豚肉・鶏肉、青果は野菜・果物ごとに尋ねているため、品目ごとにn数は多少異なり、品目のうち大きいn数を用いて算出している。

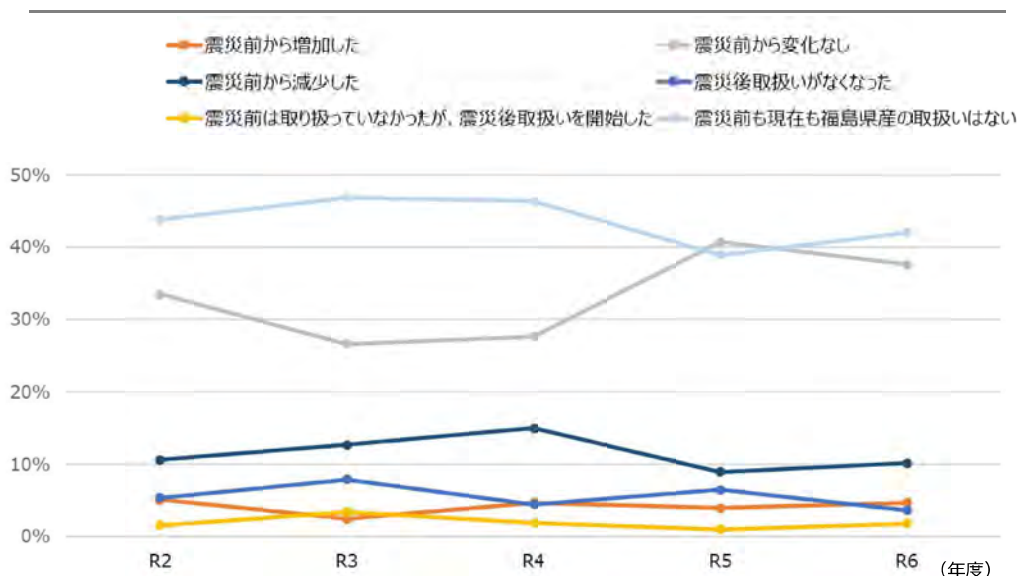
※回答者は同一ではなく、年度ごとにそれぞれ任意の事業者が回答している。

130

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（経年比較：小売）

小売業者における震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化を確認すると、震災前から取扱量が減少した事業者の割合・取扱量が増加した事業者の割合はともに横ばい傾向にある。

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化（小売）



※n数はR2：236、R3：248、R4：244、R5：403、R6：383。R2～R4は精肉は牛肉・豚肉・鶏肉、青果は野菜・果物ごとに尋ねているため、品目ごとにn数は多少異なり、品目のうち大きいn数を用いて算出している。

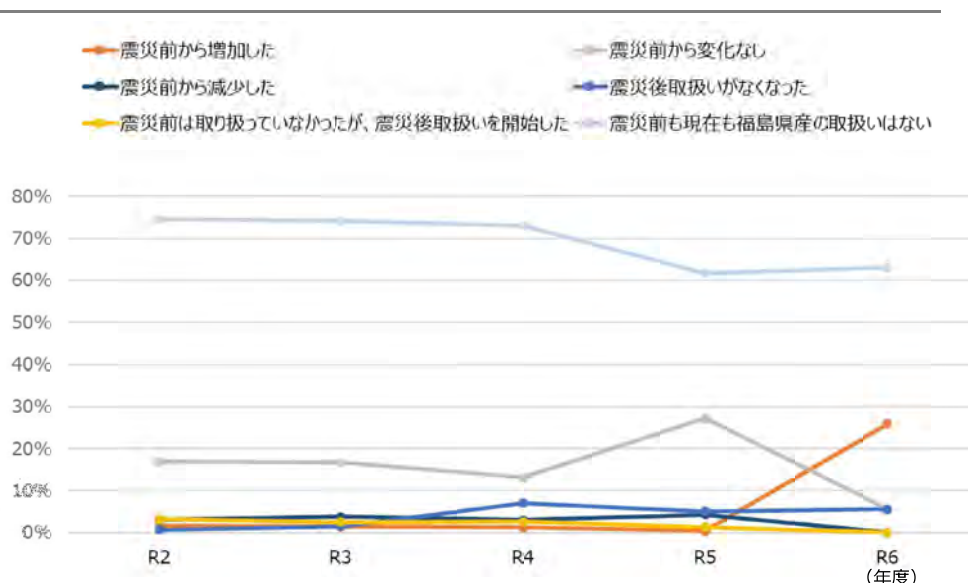
※回答者は同一ではなく、年度ごとにそれぞれ任意の事業者が回答している。

131

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量（経年比較：外食）

外食業者における震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化を確認すると、震災前も現在も福島県産品の取扱いがない事業者の割合は減少傾向であるが、過去5年間で外食業者全体の中でその割合が大半を占めることに変わりはない。

震災前と比べた現在の福島県産品の取扱量の変化（外食）



※n数はR2：309、R3：224、R4：187、R5：235、R6：249。R2～R4は精肉は牛肉・豚肉・鶏肉、青果は野菜・果物ごとに尋ねているため、品目ごとにn数は多少異なり、品目のうち大きいn数を用いて算出している。

※回答者は同一ではなく、年度ごとにそれぞれ任意の事業者が回答している。

132